

第 11 回 原型炉プラットフォーム会合

～核融合炉ブランケット開発課題～

1. 趣旨

原型炉プラットフォーム会合は、核融合炉実現に向けて研究開発の視野を拓げるだけでなく、コミュニティの裾野を拓げるための場として毎年開催しております。第 11 回となる今回の会合では、核融合エネルギー取出し技術の鍵となる核融合炉ブランケットの開発課題をテーマとして、現在の原型炉およびブランケット開発戦略、および原型炉ブランケット体系のミニチュアプラントと位置づけられる ITER-TBM (Test Blanket module) の開発状況を共有し、今後核融合炉ブランケット開発を All-Japan で取り組んで行くにあたってのブランケット開発における優先技術課題を議論することを予定しております。ポスターセッションでは、参加者の方々が日々取り組まれている核融合エネルギー実現に向けた研究開発の現状と課題について議論を行います。来たるべき原型炉時代を担う若手研究者・学生の積極的な参加をお待ちしております。オンラインでの併催も予定しておりますので、現地参加が難しい方はオンライン参加もご検討ください。

また、本会合に引き続き六ヶ所研施設の見学会を開催します。こちらへの参加も是非ご検討ください。

2. 開催日程：

令和 4 年 9 月 20 日、21 日 (2 日間)

3. 開催場所：

量子科学技術研究開発機構 六ヶ所研究所

計算機・遠隔実験棟 ITER 遠隔実験室 (オンライン併催)

4. 議事次第：

9 月 20 日 (火)

- | | | |
|-------------|-------------------------|-------------------|
| 13:15～13:20 | 開会の挨拶 | 石田真一 (QST) |
| 13:20～14:00 | 核融合炉ブランケット開発戦略 (仮) | 谷川博康 (QST) |
| 14:00～14:45 | 原型炉ブランケット設計検討の現状と課題 (仮) | 染谷洋二 (QST) |
| 14:45～15:30 | ITER-TBM 開発の現状と技術課題 (仮) | 河村繕範 (QST) |
| | (写真撮影・休憩) | |
| 15:45～16:35 | 原子力用鋼およびステンレス鋼の溶接技術 | 安田功一 (JFE テクノロジー) |
| 16:35～17:30 | ポスターセッション | |

9 月 21 日 (水)

- | | | |
|-------------|------------------------|-------------|
| 9:10～10:00 | 軽水炉における安全評価課題と実験技術の新展開 | 古谷正裕 (早稲田大) |
| 10:00～11:00 | 総合討論 | |
| 11:00 | 閉会 | |
| 11:00～12:00 | 六ヶ所研 施設見学会 | |

5. 募集締め切り：現地参加 令和4年8月10日（水） リモート参加 8月19日（金）

6. 旅費支給

旅費支給を希望される方は、ポスターセッションにて発表いただくことが支給条件となります。（ポスターサイズ：A0縦） ポスターの内容は、「原子力・核融合技術」「製作技術」「核融合ブランケット」のキーワードに関する成果、今回の会合趣旨に関する見解の発表をお願いします。

7. 申込先等

【申込・問合せ先】

量研 量子エネルギー部門 六ヶ所研究所

原型炉プラットフォーム会合 事務局（demo_platform@qst.go.jp）